

日本薬学会

レギュラトリーサイエンス部会に
参加してみなさまの研究成果を
見直してみませんか。

多くの方々の

レギュラトリーサイエンス分野への
参加をお待ちしています。

レギュラトリーサイエンス・フロー

レギュラトリーサイエンスの対象



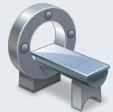
医薬品



食品



化粧品



医療機器

その他

「有効」か「有害」かを科学的根拠に基づき判断

研究・開発・データ作成・評価

行政への提案

学会・公開の場で
討議

人々の健康の維持・増進に寄与

Division of
Regulatory Sciences

レギュラトリー
サイエンス部会

へのお誘い

日本薬学会 レギュラトリーサイエンス部会活動などの問い合わせ先

〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-26
国立医薬品食品衛生研究所内 レギュラトリーサイエンス部会事務局

E-mail reg-sci@nihs.go.jp

日本薬学会 レギュラトリーサイエンス部会のホームページ

<http://www.nihs.go.jp/dnfi/rs/index.html>

レギュラトリーサイエンスとは

我々の身の回りの物質や現象について、その成因や機構、量的と質的な実態、および有効性や有害性の影響をよりの確に知るための方法を編み出し、その成果を用いてそれぞれの有効性と安全性を予測・評価し、行政を通じて国民の健康に資する科学です。

薬学分野では、レギュラトリーサイエンスの対象として医薬品、食品、生活環境等があげられます。具体的には医薬品・医療機器・再生医療等製品・化粧品等での品質・有効性・安全性確保のための科学的方策の研究や試験法の開発、さらに実際の規制のためのデータの作成と評価などです。

また、食品や生活環境では化学物質や微生物等からの安全性確保のための科学的方策研究、安全性評価法の開発研究、さらに実際の規制のためのデータの作成とその評価などが、レギュラトリーサイエンスに含まれます。

先端技術を利用して開発・製造される画期的医薬品等の臨床応用、あるいは利便性に優れた新規化学物質等の開発と市場への導入、あるいは食生活の変化に応じた食品等の安全性確保においては、レギュラトリーサイエンスにより、科学的、客観的に評価することは、これら新技術の成果を安全かつ速やかに社会に普及する上で最も合理的な方法といえます。

このように、レギュラトリーサイエンスの成果は、有効かつ安全な医薬品等や食品の安全性確保、良好な生活環境の維持を通して、人々の健康の維持・増進に大きくかつ直接的に寄与するものであり、この分野の研究は今後もますます活発化することが期待されます。

レギュラトリーサイエンス部会の活動内容

日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会は、医薬品や食品の品質、安全性、有効性などが十分な科学的根拠に基づいた予測、評価、判断によって保証され、関連する基礎研究の成果を社会にとって望ましい内容と方向に生かすことを目的として、以下の部会活動を行っています。

1. 主催学術集会

医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム

第20回 (2023.11.27)

「～「医薬品医療機器等法／薬機法」公布から10年～
革新的医薬品・再生医療等製品の实用化促進のための規制の現状と課題」

食品安全フォーラム

第21回 (2023.12.8)

「レギュラトリーサイエンスに貢献する食品分析
—国際動向を踏まえた食品分析の取り組みを中心に—」

次世代を担う若手のための レギュラトリーサイエンスフォーラム

第9回 (2023.9.16)

「若手研究者が担うレギュラトリーサイエンスの将来」

2. 共催学術集会

医療機器
フォーラム

バイオロジクス
フォーラム

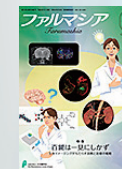
医療品品質
フォーラム

薬用植物
フォーラム

3. その他

年会シンポジウム企画、薬学レギュラトリーサイエンス教材案提案、他

薬学会員になると
こんなメリットがあります。



薬学に関する情報満載の会誌「ファルマシア」が月1回配布されます。



薬学会が発行する学術誌について、投稿手数料、掲載料、あるいは購読料の割引が受けられます。

- YAKUGAKU ZASSHI
- Chemical & Pharmaceutical Bulletin
- Biological & Pharmaceutical Bulletin
- BPB Reports



年会などの学術集会で学術発表ができます。



各種学会賞の候補者や推薦者になることができます。



シンポジウム・セミナー等、会員として参加できます。



経験や経歴を積み重ねることでキャリアパスに役立ちます。



宿泊等の会員優待割引制度を利用できます。